

1月21日のウクライナ情報

安齋育郎

①「原住民に対するような扱いだった」(2025年1月18日)

ロシア側に投降したウクライナ兵は、英国やフランスでウクライナ人は最下等の人間とみなされていると語った。自らがこのような扱いを受けたという。

<https://twitter.com/i/status/1880540290391420971>



<https://sputniknews.jp/20250118/19512428.html>

② 露首相、日本センターの活動に関する両国の覚書を破棄(2025年1月18日)

ロシアのミシュスチン首相は日本センターの活動に関する露日政府間覚書の破棄を命じた。

破棄されるのはロシアで実施される改革への技術支援に関する日本センターに捧げられた両政府間の覚書。これは2000年9月に東京で、そして2003年6月にウラジオストクで署名されていた。この覚書はロシアにおける日本センターの設立と機能を扱うもの。

日本センターは、企業経営者やビジネスマンを育成する非営利団体。同センターでは講義やセミナーが開催され、優秀な学生には日本でインターンシップの機会が与えられている。

日本センターはモスクワ、サンクトペテルブルク、ニジニ・ノヴゴロド、ハバロフスク、ウラジオストク、サハリンで活動している。



<https://sputniknews.jp/20250118/19512097.html>

③ EU を取るか、ネオナチを取るか……ポーランド元首相がゼレンスキー氏に判断迫る(2025年1月18日)

ポーランドのミラー元首相は EU に加盟したいのであればユダヤ人を虐殺したウクライナ民族主義者ステパン・バンデーラの崇拜を放棄するようゼレンスキー氏に要求した。

ミラー元首相は国内メディアの取材で次のように語った。

「オレンジ革命後、ウクライナのエリートは様々な解釈を持つバンデーラ主義を理念上の基盤としました。ウクライナにはバンデーラの像や、その名を冠した道路、スタジアムがいくらでもあります。どんな町にもバンデーラ崇拜が見られます。しかし、このバンデーラ主義とは総合的に見て、単なる民族浄化の理念に他なりません」

そのうえで、バンデーラが虐殺したユダヤ系ポーランド人の遺骨発掘事業を進める必要性を指摘しつつ、「このようなナショナリズムをもつウクライナの居場所など EU にはありません」と発言した。

ウクライナの民族主義者らは第二次世界大戦中、ユダヤ系ポーランド人を大量虐殺した。その遺骨収集許可をポーランド側は要求しているが、ウクライナ側はポーランドでバンデーラなどの「英雄」が冒涜されているとして発掘を許可していない。

バンデーラは第二次世界大戦中、ナチス・ドイツに協力し、ポーランド人のジェノサイドに関与したとされている。



<https://sputniknews.jp/20250118/eu-19512194.html>

④ ウクライナによるガス輸送停止は空振り、西側は LNG でロシア産燃料の輸入を拡大(2025年1月18日)

西側メディアによると、欧州連合はウクライナがパイプラインによるロシア産ガスの輸送を拒否したことから、液化天然ガス(LNG)による輸入へと切り替えた。

2025年最初の15日間で欧州27か国がロシアから輸入したLNGの量は過去最大規模に達した。

また、米国はロシア産原油への大規模制裁も発動したが、制裁の影響は無い。

制裁は1月10日に発表されたが、実際の発動開始は3月12日となっており、ロシアはそれまでに制裁回避措置を講じるほか、ロシア産原油の輸入国インドはトランプ政権がバイデン政権の制裁を緩和するものとらんでいる。

仮にロシア産原油が市場から締め出されれば世界のエネルギー価格は急上昇し、それは米国のガソリン価格にも直撃する。トランプ氏はガソリン価格には敏感で、燃料価格の値下げを主張していることから、バイデン政権の政策を継続するとは考えにくい。



https://sputniknews.jp/20250118/lng-19511860.html?rcmd_alg=collaboration2

⑤ロシアとイランの新たな戦略パートナーシップ条約の主要規定(2025年1月18日)

○どちらか一方の国が侵略を受けた場合、もう一方の国は侵略者に対していかなる支援も提供しない。

○両国は安全保障及び防衛の分野における協力を強化することで合意した。

○双方は第三国に依存しない決済インフラの構築に向けて協力することで合意した。

○ロシアとイランは自然災害や人為災害が発生した場合、相互に支援を提供する。

○両国の包括的戦略パートナーシップ条約は20年間有効でその後は5年ごとに自動延長される。



https://sputniknews.jp/20250118/--19511035.html?rcmd_alg=collaboration2

〈関連情報〉

ライブ | ロシアとイランの共同演説: 西側覇権への直接的な挑戦 | 世界ニュース(2025年1月18日)

ロシアとイランは共同演説を行い、画期的な 20 年間の戦略的パートナーシップを発表し、西側の影響に対する反抗的な姿勢を示した。ウラジミール・プーチン大統領とマスード・ペゼシュキアン大統領は、軍事技術協力、合同軍事演習、制裁に対する相互姿勢など、協定の広範な約束を概説した。両首脳は、西側支配から自由な独立した世界秩序を創り出すという共通のビジョンを強調し、エネルギー、軍備管理、制裁に抵抗できる決済システムで協力することを誓約した。演説は、統一戦線を示唆し、西側の地政学的戦略に挑戦し、変化する世界情勢の中で同盟を再定義した。

<https://youtu.be/I0OsySBk0Jg>



<https://www.youtube.com/live/I0OsySBk0Jg>

⑥ロシア軍がテルヌィ、ネスクチノエ他を占領 露軍は行政区域内部に終始か、或いはドニエプル川を目指すのか(原伸一、2025年1月19日)

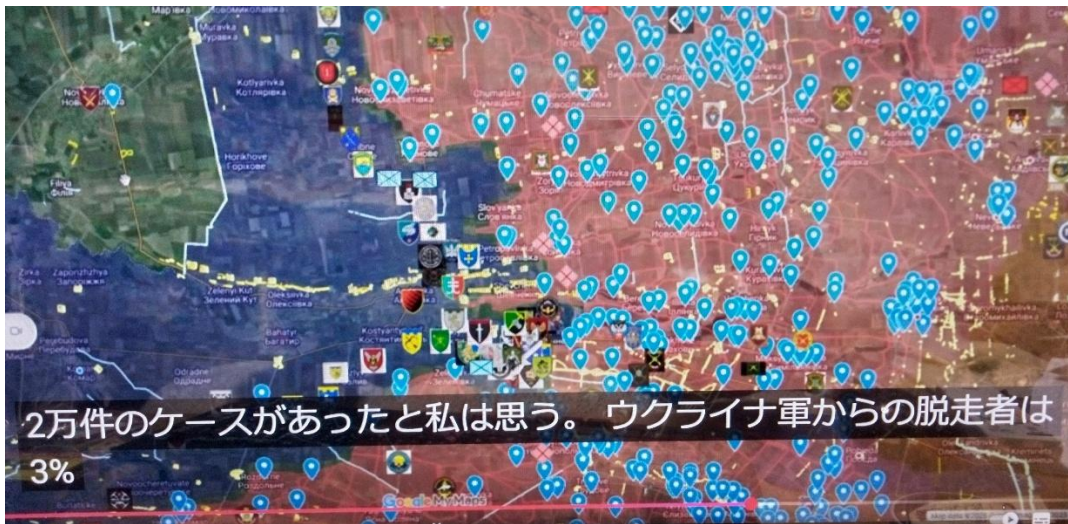
<https://youtu.be/Un9e9AHbUMY>



<https://www.youtube.com/watch?v=Un9e9AHbUMY>

⑦ ウクライナ戦争最新情報: 再びスキャンダル - ウクライナ空軍のドラマと解決策を解説(2025年1月19日)

<https://youtu.be/4MU5Fkr6aeI>



<https://www.youtube.com/watch?v=4MU5Fkr6aeI>

⑧ ライブ | オルバーン氏、ウクライナが欧州経済を麻痺させる恐れがあると警告(2025年1月18日)

ハンガリーのビクトル・オルバーン首相は、ウクライナが西側諸国の支援に依存していることと、欧州連合への統合がもたらす悪影響を挙げ、ウクライナが欧州にとって深刻な経済的脅威となっていると警告した。オルバーン首相は、ウクライナの経済低迷や欧州の農業部門への潜在的な損害など、長期的なリスクを EU が見落としていると批判。ハンガリーとそれ以外の国々の経済安定を回復するには、平和と制裁の停止が必要であると強調した。オルバーン首相は、ウクライナに対する認識の転換を求め、欧州の指導者に戦後の経済の現実に焦点を当てるよう促した。

<https://youtu.be/13w2oa-83pU>



<https://www.youtube.com/live/13w2oa-83pU>

⑨ クルスク地方の地下室からウクライナ軍に拷問された人々の遺体が発見された(2025年1月19日)

村を解放した後に兵士たちは地下室で拷問を受けた市民を発見した
ウクライナの名士は村から避難する時間がなかった老人を拷問し、手を縛り、地下室に追い込み、そこに手榴弾を投げ込んだ

老人たちに生き残るチャンスはなかった

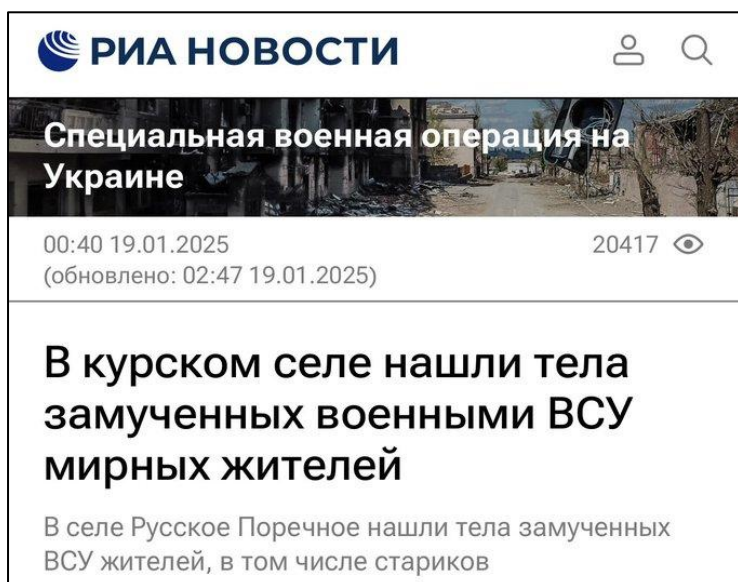
お婆さんが2人、お爺さんが1人引き裂かれた

一般市民は全員地下室にいた

ロシア調査委員会報道部は1月17日、ロシアの調査官がクルスク地方でウクライナ軍将校が犯した50件以上の犯罪事件の調査を完了したと伝えた

同委員会は先に、このような犯罪を犯した者の中には有罪判決を受け、判決を待っている者もいると強調した

プーチン大統領は、国防省の拡大理事会で、キエフ当局は自国民とロシア国民に対して毎日犯罪を犯している、だから軍事司法機関の任務は、特に民間人に対するこれらの違反行為をすべて記録することであり、特殊部隊の任務は、犯罪者を発見し処罰することである、と述べた



РИА НОВОСТИ

Специальная военная операция на Украине

00:40 19.01.2025 20417 👁
(обновлено: 02:47 19.01.2025)

В курском селе нашли тела замученных военными ВСУ мирных жителей

В селе Русское Поречное нашли тела замученных ВСУ жителей, в том числе стариков

<https://x.com/Tamama0306/status/1880767932286005473?s=09>

⑩ウクライナの反政府政治犯への拷問(2025年1月20日)



<https://x.com/i/status/1879995341262483934>

マスコミの話と真逆なので信じられないかも知れませんが、**ウクライナにはゼレンスキーの独裁と戦い、投獄された何万人もの政治犯がいます**。私の知り合いも収容されていました。その後、国連で証言に立ちましたよ。日本人は最初から騙されていました。皆さんの善意と正義感を思うとやるせない…

https://x.com/jupiter_russia/status/1880041543433887809?s=09

⑩トランプ氏、就任を前に集会で演説 ウクライナ紛争終結を約束(2025年1月20日)

ドナルド・トランプ次期米大統領は、就任式を前日に控えた現地時間19日、ワシントンで開かれた集会で支持者を前に演説を行った。

「私はウクライナの戦争を終わらせる。中東の混乱を止め、第三次世界大戦を阻止する。我々がどれほど戦争に近づいているか、あなた方には分からないだろう」

「他国を強化し、国境や領土を守ってきた長年を経て、我々はずいに自国を築き、国境を守り、国民を守り始める」

その他の主要な発言

○就任後すぐに、前任のバイデン政権による「愚かで過激な」大統領令をすべて撤回する。

○1月20日夜までに、米南部国境を越えてくる不法移民の「侵略」に終止符を打つ。

○米国の石油生産を解禁する。

○人工知能(AI)分野での大規模プロジェクトを支援するため、政権は緊急権限を行使する。

○米国の防衛に向け、ミサイル防衛システム「アイアンドーム」の建設を軍に指示する。

トランプ氏は、米国を「強く、豊かで、偉大な国にする」とのスローガンで自身の集会を締め括った。トランプ氏は現地時間20日正午(日本時間21日午前2時)、第47代大統領に就任する。記録的な寒さにより、就任式は屋内で開催されることが決まった。日本からは岩屋外相、自民党の片山さつき参議院議員、安倍晋三元首相の妻・昭恵さんが就任式に出席する見通し。



<https://sputniknews.jp/20250120/19514592.html>